



災害時における他市HP
への代理掲載について
木村 俊子

【質】 大規模な災害が発生した場合、市のホームページ（HP）が機能しないことも想定されるので、災害時における情報発信の確保のため、白石市や海老名市など遠隔地の自治体HPに代理掲載をしてもうう仕組みが必要ではないか。

【答】 災害時における他市HPへの代理掲載は有効な手段であると考える。当市は白石市と海老名市とで「危機発生における相互応援に関する協定」を締結していることから、今後三市で協議を進めていきたいと考えている。



今後のハード整備と
土木政策について
石山 正志

【質】 当市における今後のハード整備について質問。市長は「鷺別小学校建て替えに仮に20億円かかって、その他の建設事業も行う際の償還を考えると、損益分岐は年間27億円と試算している。個人的には30億円以内ならギリギリやれると思う」と述べた。土木政策については「厳しい予算ではあるが、主要排水路などの工事は効果が確認されており、予算付けはしっかり行っていく。併せて、土木事に付加価値を付けることも考えていく」と述べた。



放課後児童クラブ
について
佐々木 久美子

【質】 当市の放課後児童クラブは6カ所あるが、未設置地区が2カ所ある。また富岸児童クラブは定員30名に対し、50名近く入所しており、定員を大幅に超えているが市の考えは。

【答】 未設置となっている「登別」「幌別東」小学校区の整備が急務で、設置に向けた協議が続いている。また、定員を大幅に超えている若草・富岸の二つのクラブ、特に利用ニーズの増大が見込まれる富岸児童クラブについては、施設の増築などを引き続き検討していく。



就職難の今、スピード感
のあるサポートを
渡辺 勉

【質】 震災不況が続く中で、新卒高校生の就職状況は極めて悪く、11月末で昨年の3倍の就職未定者がいる。キャリアサポートのほりべつの事業の一つに「若者への就職支援」があり、事業がスタートして4カ月たつが、広く市民にその存在と活動が知られていない。今こそ就職、転職などの支援にその力量を発揮し、求人情報の収集や提供、講座の開催など就職難の今にあったスピード感ある取り組みをすべきと質問。1月に就職講座を開きたいと答弁があった。



*FC・デジタル
コンテンツについて
工藤 俱二雄

【質】 映画・ドラマ・CMなどで当市をアピールすることや、映画スタッフなどの宿泊・飲食・資機材などを市内で調達することにより経済効果が生まれ、ロケ地を巡る旅でお客様が来てくれる。また観光地以外にも写真（静止画・動画）を撮ってデジタル保存し、情報を発信して広くPRしてはどうか。

【答】 ロケ地を訪れて観光につながるのには認識している。観光地以外にもデジタル保存をして、FCのデータに結びつきたい。



景観条例制定と
新エネルギー政策について
山口 賢治

【質】 10年ほど前から各種市民会議により景観条例を制定すべきとの提言があった。登別らしさとは何かを前提に条例を制定し、今後の当市におけるまちづくり景観の指針とすべきである。

【答】 また、太陽光や風力、水力、地熱発電などの新エネルギー政策については、専門家や事業者などによる意見交換会を開催すべきであると提言し、設置する方向で進めていきたいと答弁があった。



中学校の武道・ダンス
必修化について
二瓶 秀幸

【質】 新学習指導要領の中学校保健体育において、平成24年度から必修となる武道とダンスの取り組みについて、当市における柔道の準備が、安全に十分配慮したものとなっているのか確認したい。

【答】 柔道の授業は体育館に畳（弾力性のあるジョイント式マット）を敷き実施する。柔道着は1校当たり40着を市で準備し、クラスごとに使い回しする。学習内容は受け身や技の掛け方など基本動作と作法が中心。指導は武道の経験がある体育教師が行い、講習会で知識習得していく。



人口減少社会の
まちづくり
辻 弘之

【質】 被災地支援のあり方について質疑し、被災地のがれきり受け入れに対する市の公式見解をたずねた。また、当市職員の被災地派遣にあつては、復興支援だけを目的とするのではなく、派遣部局ごとに当市に置き換えた場合の、災害時における課題の抽出と改善策の分析も行い、当市の業務改善に生かすことを提案した。

【答】 そのほか、人口減少社会に対応した長期的政策の必要性をたずね、将来的な人口減少を勘案した政策立案に向け、庁内理解を図りながら提案していくとのこと。

*FC：フィルムコミッション（映画などの撮影場所誘致や撮影支援をする公的機関）